

出張医学教育FD(上越総合病院)

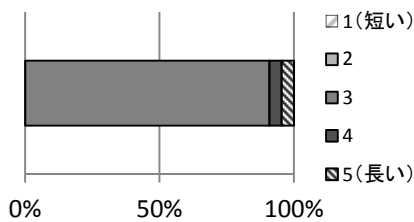
【日 時】平成29年 9月15日(金)

【参加人数】 28名

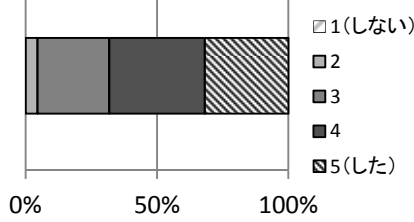
【内 容】 アセスメント(評価)の仕方



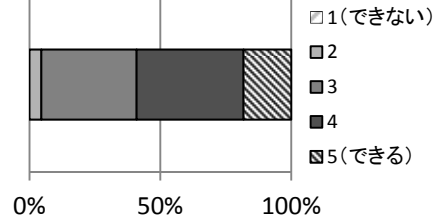
FDの開催時間はいかがでしたか。



FDはニーズにマッチしましたか。



学生の評価ができるようになりますか。



参加者の意見

よく理解できたこと	あまり理解できなかったこと	ご意見
目的や課題を明確にして、かかわる(かかわらせる)事で相手の積極性を引き出す。 他職種連携で人材育成	学習レポートはどこまで評価すべきかわかりづらい。どうしても過去の経験からcase reportとして評価してしまう	ありがとうございました。今後ともよろしくおねがいします
学生は評価しないと伸びないという意味がわかりました。実施前に”これを聴く、テストする”っていうアシストがあると確かに何を見るべきかわかるというのが、自身としてもわかりやすかった。ただ実習をするというルーティンワークからの脱却するには評価する項目を提示する必要があるですね	日本でこの方法を取り入れている大学は他にありますか	大変良い試みとは思いますが、教える側、教えられる側のレベルがマッチしていないと看護学校でよくある文章だけ長い無意味なやりとりを延々とさせてしまう危険性もあるので、医師育成という意味においてはより、論理的なやりとりを意識させる方向で強調して欲しいと感じた。病態などの理解のうすいレベルの人にやらせる内容としては行動レポートは良いと思う。学生レポートはハイレベル層もまんぞくのいく内容にしてあげてほしい
ブリーフィングから体験(実習)さらにデブリーフィングで説明。知識の修得がupするということ	あまり実感がわからない	自分の実習を思い出してこういった実習であればより充実していたらうなと思った所がいくつかありました。特に最後のスライドは勉強になりました。
どのようにすれば意欲が増すかということがわかった	学生のレポートの評価の仕方(具体的に)	今回は医学生でしたが、同様の関わりを、教育内容は違いますが卒1年目にしています。看護学生時代からとり入れが必要なことだと思って聞いていました。ありがとうございました。
motivationをあげるためのevaluationのしかた	段々と課題が増えている印象があること	1日1個、新しく得るものがあると良いと思うのですが、参考となる指標が欲しいかと考えました
信州大学における学生指導の新しいとりにくみについて知ることができてよかったです	ポートフォリオの書き方をもう少しおそわりたいかった	短時間にまとめて下さり、感謝申し上げます。
学習レポートと行動レポートがあること	「学生にさせてあげればよいこと」を知ることができたが、実際に現場で応用できるかどうか不安があります	
デブリーフィングが重要である		
現在の信州大学の教育指導方法および具体的な内容		
医学生のやる気を引き出させるため、ブリーフィングが必要であること。学生にさせたいこと、後かたづけが重要であることがわかった		
ブリーフィングとデブリーフィングの効果		